

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-1		事業名	円山動物園リニューアル事業
担当	環境局円山動物園経営管理課 村山 621-1426			
全体計画				
事業内容	動物園内の各種施設の改修、改築などについて、基本計画に基づき順次実施する。 基本計画は、札幌市円山動物園基本構想に基づく概ね10年間の施設整備や経営戦略を計画したものである。		<年度別の事業内容>	
			H19 エゾシカ・オオカミ舎建設 H20 熱帯植物館解体、エゾヒグマ館新築工事実施設計 H21 新は虫類館新築工事実施設計 エゾヒグマ館新築工事 白鳥池解体工事実施設計 エコパーク事業(熱源転換設計)	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	エゾシカ・オオカミ舎完成(143,436千円) 597.06㎡		熱帯植物館解体 28,511千円 老朽化及びコスト削減(A重油)のため解体する。	
事業内容・規模・件数等	平成21年度事業内容(予算)		平成22年度事業内容(予算)	
	エゾヒグマ館建設(147,800千円) 556㎡ 北海道固有の動物であるエゾヒグマを間近で観覧できる展示施設を建設し、身近な動物から環境問題や北海道の自然を考えるきっかけとする。 新は虫類館新築工事実施設計(10,380千円) 600㎡ 既存の爬虫類館を解体し、新たに飼育動物の生息環境を効率よく作り出すことができる施設を建設するため、設計を行う。これにより、希少動物の繁殖を行うための必要な環境が整い、生物多様性のメッセージを発信することができる。 その他施設整備設計費(6,600千円) 将来のアジアゾーンの建設予定地となる白鳥池を解体する設計、及び園内の熱源を重油から、熱効率がよく安定供給が見込める天然ガスへ切り替える設計を行う。			

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	4-2-1			事業名	円山動物園リニューアル事業		
<b>達成目標の状況</b>							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
[円山動物園リニューアル]基本計画の策定	-	素案策定	策定	/	/	策定 (19年度)	
<b>市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)</b>							
市民との連携、市民参加 市民動物園会議の開催  企業等との連携・協働 [資金協力] 企業等からの寄付金により支援、アニマルファミリー制度による支援 [人材協力] 該当なし [情報協力] 該当なし [その他の協力] 該当なし 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 該当なし							
<b>評価(成果)</b>				<b>課題</b>			
H19年度、20年度ともに計画を滞りなく実施し、エゾシカ・オオカミ舎により北海道に生息する動物の食物連鎖の関係から身近な環境問題について普及啓発ができた。また、熱帯植物館の解体により、重油使用量が約20%削減することができ、持続可能な経営に一步近づいた。				動物園が発信するメッセージをより普及・啓発のできる新施設を活用した環境教育・レクリエーションのプログラムの検討が必要である。			
<b>今後の事業の予定・方向</b>							
円山動物園基本計画に沿って、事業を実施していく。							

## 平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		4-2-1		事業名	円山動物園リニューアル事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	-	-	-	-	-	
	財源内訳						
	国・道支出金					0	
	市の債					0	
予算	事業費	231,900	40,000	164,780	-	436,680	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0	0		0	
	市の債	0	0	0		0	
実績	事業費	204,264	28,511	-	-	232,775	
	財源内訳						
	国・道支出金	0	0			0	
	市の債	0	0			0	
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				-	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体) 当事業は、札幌市円山動物園基本計画に基づいて実施するものであり、事業計画時には基本計画が策定されていなかったことから、計画上の事業費は未設定であり、予算査定と同時に計上していくこととしている。							
[19年度]							
[20年度] 競争入札により、熱帯植物館の解体工事費を必要最小限とすることができたため、11,489千円の節約となった。							
[21年度]							